

取扱説明書

LS-BH11SH4-W (商品番号:06-4201)
LS-BH11SH4-K (商品番号:06-4202)
LS-BH11SH4-T (商品番号:06-4203)

【お客様へのお願い】この度は弊社商品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとも大切に保管し、必要などきにお読みください。

1 安全に関するご注意

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

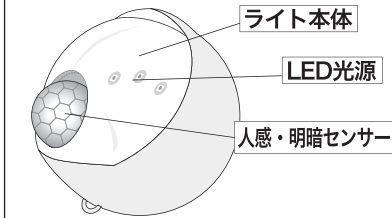
図記号の説明	 警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	 注意 「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
表示の説明	 は、してはいけない「禁止」内容です。	 は、必ず実行していただく内容です。

 警告	 守る 本体の取り付けはこの取扱説明書に従い、 確実に おこなってください。	 濡れ手禁止 乾電池を交換する際は濡れた手で本体に触れないでください。 また本体が濡れている場合も触れないでください。
	 禁止 斜めや逆さまに取り付けると正しく検知が出来ない事があります。 また雨水が入り故障の原因となります。	 禁止 点灯中のライトを直視しないでください。 視力に悪影響を及ぼすおそれがあります。
	 禁止 本体を大量の水がかかる場所に設置しないでください。通常の雨や風には耐えますが、防水タイプではありません。	 禁止 布や紙など燃えやすい物の近くに取り付けしないでください。 火災の原因になります。
		 分解禁止 分解・改造をおこなうと保証の対象外となりますのでお止めください。

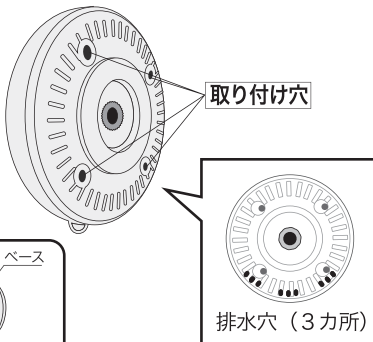
 注意	●本機は人を検知した時にライトを点灯させる機能を有しておりますが、侵入・盗難を確実に阻止するものではありません。万一発生した損害につきましては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。 ●気温・気圧等の気象変化によりセンサーがまれに誤動作することがありますが故障ではありません。 ●電池残量が少なくなると、ライトが暗くなったり、点灯しなくなったり、また点滅することがあります。その場合は電池交換をおこなってください。 ●電池は正しく使用しないと液漏れ・破裂・発熱などの原因となりますので以下の取り扱いにご注意ください。 ・電池は＋方向を正しく入れてください。 ・古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。 ・長期間ご使用にならない場合は電池を取り外してください。 ・電池は充電しないでください。 ・電池のアルカリ液が目に入ったり皮膚や衣服に付着した場合は失明やケガのおそれがありますのですぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。 ●電動シャッターなど電波を利用する機器の近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。 ●モーターなど磁場が発生する機器の近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。 ●ガス機器や排気口など、温度の高くなるものの上に取り付けをしないでください。 ●落下・故障の原因になりますので必ず付属品または別売り品を正しく使用してください。 ●本体のお手入れは柔らかい布で乾拭きするか、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞ってから拭いてください。 ●本体を取り付けたネジたおよび付属品は半年に1～2回を目処に、ゆるみやガタつきがないか点検してください。 ●ライトの明るさや光の色に違いが出る場合がありますが商品の特性上ご了承ください。 ●LEDの交換はできません。 ●仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。	

2 各部の説明

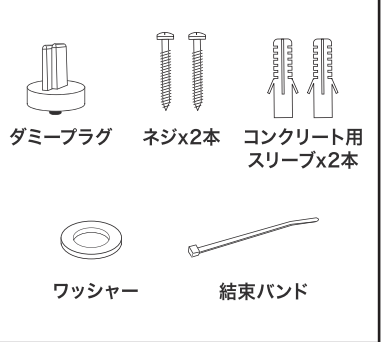
■本体



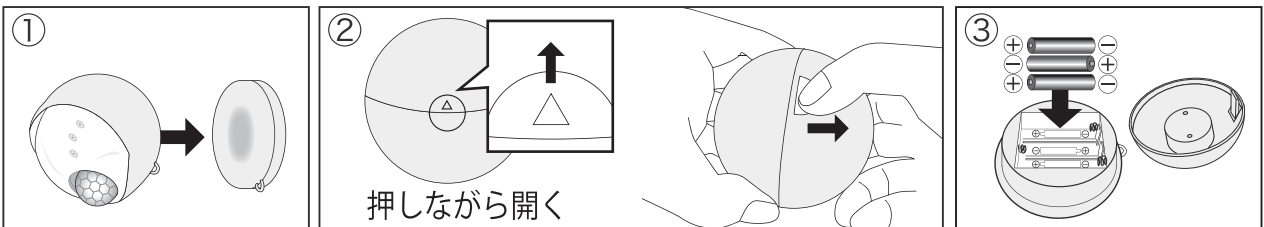
■ベース



■付属品

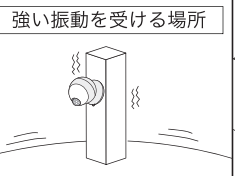
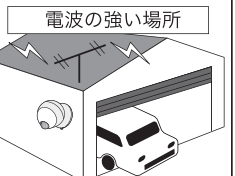
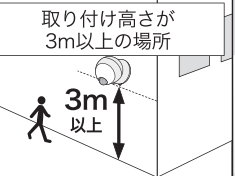
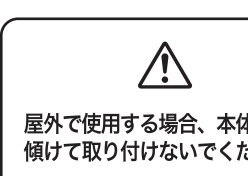
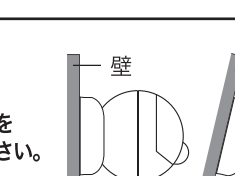


3 電池の入れ方



- ①本体をベースから取り外します。
- ②本体背面の電池フタを▲マークの方向に押しながら開くようにして電池フタを取り外します。
開けにくい場合は同時に前ケースを図のように締め付けながらおこなってください。
- ③電池ケース内の⊕⊖表示を確認して、単3形アルカリ乾電池3本をセットします。
- ④逆の手順で電池フタを元通りに戻します。

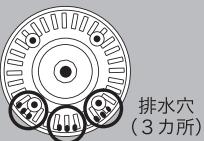
4 ライト本体の取り付け

 取り付け注意	
次のような場所に取り付けるとセンサーが周囲の明るさと温度変化を検知して誤動作や動作しないことがあります。	
	
	
	
	
	
 屋外で使用する場合、本体を傾けて取り付けしないでください。 検知機能が正常に動作しなくなったり、内部に雨水が入り故障の原因になります。	
 本体に対して人が横切るといった場所に取り付けてください。 本体正面に対して直進するとセンサーの特性上、検知しないことがあります。	

4 取り付け方法

⚠ 万一落下しても事故が起こらない場所を選んでください。

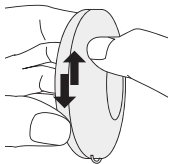
⚠ 屋外に取り付けるときはベースの排水穴位置が必ず下向きになるようにしてください。



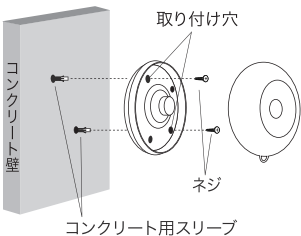
(a) ネジで取り付け

ベースを分解しベース背面を使用します。

①背面側を矢印の方向に回しベースを分解します。



②ベースの背面を付属のネジを使用して地面に対して垂直な壁に図のように取り付け穴の対角の2カ所を固定します。排水穴が必ず下になるように取り付けてください。



③ベース背面をベースに取り付けます。

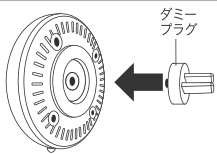
《コンクリート壁に取り付ける場合》
コンクリート壁に取り付ける場合は以下のように先に壁にコンクリート用スリーブを打ち込んでからネジで取り付けてください。



- 先にドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開けます。
- そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込みます。

(b) 付属ダミープラグで壁コンセントに取り付け

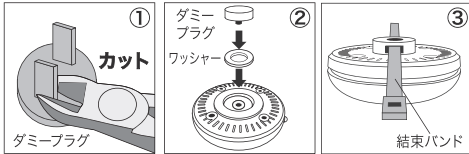
※壁コンセントの差し込み口によって固くて入らない場合、または緩くて不安定な場合は使用しないでください。



(c) 市販の結束バンドで柱に取り付け

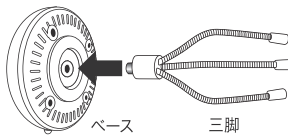
ダミープラグを使用します。

①ダミープラグの刃の部分をニッパーを使用してきれいにカットします。②残った部品の通し穴をベースにネジ締めします。排水穴が下向きにならない場合は、付属のワッシャーを間に挟んで排水穴の位置を調整してください。③結束バンドを通し、柱に巻き付けベースをしっかりと締め付け固定します。



(d) 三脚 (別売品:06-4204) でフェンスなどに取り付け

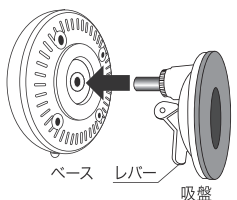
- ①三脚のネジ部分をベース背面穴にネジ締めします。
- ②風や振動で揺れないようしっかりと巻きつけてください。



(e) 吸盤 (別売品:06-4205) で取り付け

※凹凸のまたはざらざらした窓や壁には取り付けできません。
※壁紙や塗り壁は取り外す時に壁がはがれますのでおやめください。
※窓に取り付ける場合、窓を開け閉めする際に本機に強い衝撃がからないようにご注意ください。

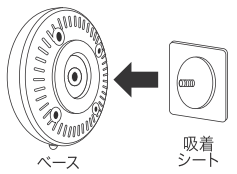
- ①取り付ける面の汚れをきれいに拭き取り、よく乾かしてください。
- ②吸盤のネジ部分をベース背面穴にネジ締めします。
- ③吸盤のレバーを上げた状態で窓・壁面にしっかり押しつけ、すき間がないようにします。
- ④吸盤のレバーを下げ、固定します。



(f) 吸着シート (別売品:06-4207) 《室内専用》で取り付け

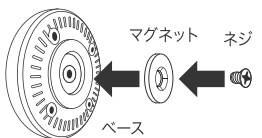
※一度はがすと吸着力が下がるため再使用はできません。
※凹凸のまたはざらざらした窓や壁には取り付けできません。
※壁紙や塗り壁は取り外す時に壁がはがれますのでおやめください。
※窓に取り付ける場合、窓を開け閉めする際に本機に強い衝撃がからないようにご注意ください。

- ①取り付ける面の汚れをきれいに拭き取り、よく乾かしてください。
- ②吸着シートのネジ部分をベース背面穴にネジ締めします。
- ③吸着シートを窓・壁面に取り付け、すき間の空気を完全に抜いてください。



(g) マグネット (別売品:06-4206) で柱に取り付け

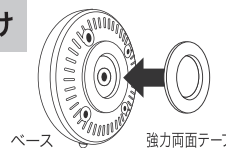
- ①マグネットをベースに取り付け、ネジ締めします。
- ②金属の壁面に取り付けします。



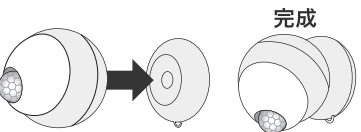
(h) 強力両面テープ (別売品:06-4206) で柱に取り付け

※凹凸のまたはざらざらした窓や壁には取り付けできません。
※壁紙や塗り壁は取り外す時に壁がはがれますのでおやめください。

- ①両面テープをベースに取り付けます。
- ②壁面に取り付けします。

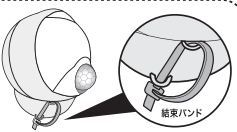


ベースに本体を装着します。
本体の取り付けは完了です。

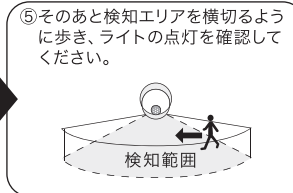
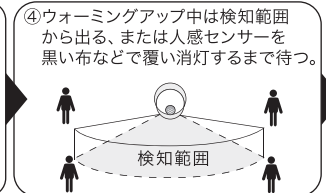
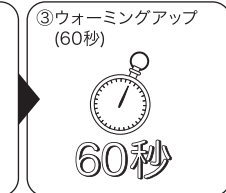
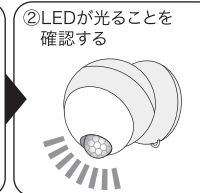


⚠ 注意 脱落防止/盗難防止

本体とベースの通し穴に付属の結束バンドを使用して両者をしっかりとなくことをおすすめします。



6 センサーの動作テスト ※必ず暗い環境でおこなってください。



センサーの動作

- 明暗センサー+人感センサーで周囲が暗いとき人が侵入すると点灯します。
- 周囲が明るいときは点灯しません。

周囲が暗い+人が通る

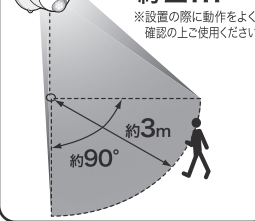


周囲が明るい+人が通る



センサー検知エリア

《検知エリアを上からみた図》
取り付け高さ
約2m
※設置の際に動作をよく確認の上ご使用ください。



⚠ 検知エリアに関するご注意

- 検知エリアは目安です。気温・服装・移動速度・侵入方向・体温・器具の取り付け高さなどにより大きく変動します。
- センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので人以外の動物や車などが移動した場合も検知します。
- 夏場の周囲の温度が高く、人の体温との差が小さいとき検知しない場合があります。
- 検知エリア外でも人より大きい熱源(車など)が移動したとき検知する場合があります。
- センサーライトの真下は検知できない場合があります。

7 故障かなと思ったら

現 象	考えられる原因	処 置
ライトが点灯しない	・電池が入っていない、または電池の接続方法が間違えている	電源の⊕⊖を確認し正しくセットしてください。 新しい電池に交換してください。
	・乾電池の電圧が低下している	夜でも周囲が明るいとき点灯しません。
	・夜でも周囲が明るい	「6.センサーの動作テスト」をご参照ください。
	・センサー部に向かって直進している	人感センサーを清掃してください。
	・人感センサーが汚れている	センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので、左記の場合は検知しづらいことがあります。
ライトが点灯したまま消灯しない	・人感センサーに蒸気や雨などの水滴が付いている	センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので、左記の場合は検知しづらいことがあります。
	・寒いときや雨降りのときに人がマフラーや傘などで覆われている	・夏場で周囲の温度が高く、人の体温との差が小さい
昼なのにライトが点灯する	・非常にゆっくりした速度で検知エリアを移動した	センサーの前に壁やガラスがあると検知出来ません。 取り付け位置を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください。
	・検知エリアが遮られている	・検知エリアが道路にかかっており、通行する車や人に反応している
点灯回数が少なくなった	・検知エリア内および周囲に誤動作源がある (例)他の照明器具、洗濯物、犬や猫、植木、エアコン吹き出し口 ガス給湯器、強い無線ノイズ、車の熱やヘッドライト	誤動作源を取り除くか、取り付け位置を変更してください。
	・検知エリアが道路にかかっており、通行する車や人に反応している	・検知エリアが道路にかかっており、通行する車や人に反応している

8 仕様

名 称	360センサーライト 乾電池式(1灯)
検 知 方 式	赤外線受動式
使 用 電 源	単3形アルカリ乾電池3本 ※別売
電 池 寿 命	約6ヶ月(1日5回点灯時間10秒) ※乾電池の性能、使用条件により大幅に変わる場合があります。
光 源	06-4201,06-4202は白色LED ・ 06-4203は電球色LED
点 灯 保 持 時 間	約10秒(固定)
JIS/IES保護等級 (JIS C 0920:2003)	IPX4 (水の飛まつに対して保護する)
使用周囲温度範囲	-5℃～+45℃
質 量	約 200g (本体+ベース、電池を除く)
外 形 寸 法	幅80x高さ80x奥行き110mm (本体+ベース)
付 属 品	コンクリート用スリーブ2本、ネジ2本、ダミープラグ1個、結束バンド1本

株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭 3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

電話受付 平日 9:00～17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

お客様相談室
通話料無料
0120-963-006
携帯・IP・公衆電話からは
048-992-2735